

令和6年度企画事業計画(案)

【利用拡大事業】

福島県郡山自然の家

No.	事業の名称	実施日	事業の目的・内容	参加対象	定員
1	さくらカタクリ月間	4月2日(火)～28日(日) ※休所日を除く	カタクリの群生、桜を鑑賞し、春の自然を満喫する。	どなたでも	なし
2	さくらウオーク	4月7日(日)	春の三穂田路の野山や田園地帯を歩きながら自然に親しみ、健康増進を図る。 (5km・10kmコース)	どなたでも	80名程度
3	オープニングセレモニー	4月17日(水)	令和6年度のオープンに合わせ、アスレチックと総合活動館を地元小学生に開放し、使い始めを行う。	多田野小4、5年生	なし
4	家族でチャレンジ! ※未来キッズ事業	5月19日(日)	家族や親子で野外活動に挑戦し、野外炊飯に取り組む。体力の増進を図るとともに、参加者の絆を深める。	家族・親子	50名程度
5	みどりのオープンデー ※未来キッズ事業	6月2日(日)	自然の家の様々な活動プログラムを体験する機会を提供し、自然の家について理解を深め利用拡大を図る。	どなたでも	400名程度
6	夢冒険キャンプ ※未来キッズ事業	8月5日(月)～7日(水)	キャンプ生活をとおして、自然との共存を図りながら様々な困難にチャレンジして打ち勝つことのできる子どもを育成する。	小学4年生～6年生	30名程度
7	家族で防災キャンプ泊 ※未来キッズ事業	8月31日(土)～9月1日(日)	自然の家で、防災に関する学習や体験を通して家族の絆と防災の意識を深める。	家族・親子	30名程度
8	第22回オープンデー ※未来キッズ事業	9月15日(日)	自然の家の様々な活動プログラムを体験する機会を提供し、自然の家について理解を深め利用拡大を図る。	どなたでも	400名程度
9	家族で登山を楽しもうin那須 茶臼岳	9月28日(土)	茶臼岳登山に挑戦。登山についての知識を学び、トレッキングしながら紅葉を楽しむ。	一般(中級～上級者)	40名程度
10	温故知新 ～郡山の歴史・近郊をめぐる旅～	10月5日(土)～6日(日)	一般シニア等を対象とした郡山の歴史や産業に触れ、郡山を再発見し知識を深める機会とする。	一般(シニア層向け)	30～40名程度
11	家族でアーチェリー&秋カレーを作ろう!	10月13日(日)	家族や親子で野外活動に挑戦し、秋の味覚を材料にしたオリジナルカレーを作る。自然の中での野外炊飯体験で家族の交流を深める。	家族・グループ	60名程度
12	家族で自然散策といも煮会	10月27日(日)	秋の自然散策と野外炊飯・いも煮をとおして食についての意識を高め、家族やグループとの交流を深める。	家族・グループ	60名程度
13	五色沼ハイキング	11月17日(日)	家族や親子で秋の裏磐梯をトレッキングし、身近な自然に親しむとともに、家族間の交流を図る。	家族・親子	40名程度
14	ハッピークリスマス&ニューイヤー	12月8日(日)	クリスマスリースや門松づくりをとおして、文化を見直し、親子や友だちとの交流を深める。	どなたでも	40名程度
15	名人から学ぶけん玉教室&検定チャレンジ	12月22日(日)	家族や親子でけん玉検定にチャレンジし参加者同士の交流を深める。	家族・親子	50名程度
16	家族でスケート教室	1月19日(日)	スケートについて、安全に滑る知識を身につけ、家族や親子で楽しく活動する。	家族・親子	40名程度
17	家族でハッピーバレンタイン	2月2日(日)	お菓子作りをとおして、作る楽しさを学び、親子や友だちとの交流を深める。	小・中学生とその家族	40名程度
18	わくわく! ファミリー冬のつどい	2月15日(土)～16日(日)	スキーや雪遊びを体験し冬のスポーツを楽しむとともに、家族の絆や家族間の交流を深める。	小・中学生とその家族	40名程度
19	冬のクラフト祭り	3月2日(日)	家族や親子で宿泊活動や体験活動を通して、体力の増進を図るとともに、家族の絆や家族間の交流を深める。	小・中学生とその家族	50名程度
20	スコアオリエンテーリング ～記録にチャレンジ～	3月9日(日)	家族や親子で宿泊活動や体験活動を通して、体力の増進を図るとともに、家族の絆や家族間の交流を深める。	家族・グループ	60名程度
21	サザンピークラブDAY	3月16日(日)	サザンピークラブ限定の企画を開催することでクラブ会員同士の親睦を深める。	会員	50名程度
22	さくらカタクリ月間	3月1日(土)～30日(日) ※休所日を除く	カタクリの群生、桜を鑑賞し、春の自然を満喫する。	どなたでも	なし

【研修会事業】

No.	事業の名称	実施日	事業の目的・内容	参加対象	定員
1	学校利用指導者研修会	第1回／4月25日(木) 【5月～8月利用学校・園】 第2回／7月25日(木) 【9月～10月利用学校・園】	当所への主体的な利用促進のため、活動計画の立案や活動の実際について研修し、指導者としての資質を高める。実施方法の研修、活動計画立案、同時利用校(園)との調整を図る。	小・中学校、特別支援教育・諸学校、幼稚園の教職員等	なし
2	ボランティア実践研修	7月20日(土)～21日(日)	ボランティアに関する知識、技能習得のために本所プログラム、宿泊体験研修会を実施し、奉仕精神の醸成と資質、実践力向上を図る。	高校生以上	20名程度
3	ボランティア育成講座	3月23日(日)	ボランティアに関する知識、技能習得のために本所プログラム、宿泊体験研修会を実施し、奉仕精神の醸成と資質、実践力向上を図る。	高校生以上	20名程度
4	セカンドスクール事業	11月12日(火)～15日(金)	小学校における教科等に関連付けた活動プログラムを実施することにより、「主体的・対話的で深い学び」につなげ、集団宿泊活動の教育的効果向上を図る。	地域小学校の児童及び教職員	25名程度

【協力事業】

No.	事業の名称	実施日	事業の目的・内容	参加対象	定員
1	いわき海浜自然の家 春のオープンデー	5月26日(日)	<いわき海浜自然の家企画事業> 本所のクラフト活動体験を提供し、利用拡大を図る。	どなたでも	200名
2	FSGカレッジリーグ学園祭	8月25日(日)	<FSGカレッジリーグ企画事業> 本所のクラフト活動体験を提供し利用拡大を図る。	どなたでも	200名
3	須賀川市子どもの祭典	10月上旬	<須賀川市企画事業> 本所のクラフト活動体験を提供し、利用拡大を図る。	どなたでも	200名
4	あったかふれあいまつり	10月上旬	<会津自然の家企画事業> 本所のクラフト活動体験を提供し、利用拡大を図る。	小学生以下の子どもとその家族	200名
5	第33回浄土松公園まつり	10月上旬	<逢瀬行政センター企画事業> 本所のクラフト活動体験を提供し、利用拡大を図る。	どなたでも	200名
6	浄土松公園主催 家族でBBQ&自然体験	10月20日(日)	<浄土松公園企画事業> 本所の自然体験活動を提供し、利用拡大を図る。	家族・親子	30名程度
7	逢瀬公園秋の感謝祭	10月中旬	<福島県総合緑化センター企画事業> 本所のクラフト活動体験を提供し、利用拡大を図る。	どなたでも	200名
8	いわき海浜自然の家 秋のオープンデー	10月下旬	<いわき海浜自然の家企画事業> 本所のクラフト活動体験を提供し、利用拡大を図る。	どなたでも	200名
9	福島ファイヤーボンズ ホームゲーム 10月～3月 (うち5回程度)	10月～12月	<福島ファイヤーボンズ主催試合> 本所のクラフト活動体験を提供し、利用拡大を図る。	どなたでも	200名

【年間継続事業】

No.	事業の名称	実施日	事業の目的・内容	参加対象	定員
1	無料開放DAY ※未来キッズ事業	<特別支援> ① 4月20日(土) ② 4月27日(土) ③ 5月11日(土) ④11月 9日(土) ⑤11月30日(土) ⑥12月14日(土) ⑦ 1月11日(土) ⑧ 1月25日(土) ⑨ 2月 8日(土) <一般> ① 4月21日(日) ② 4月28日(日) ③ 5月12日(日) ④11月10日(日) ⑤12月 1日(日) ⑥12月15日(日) ⑦ 1月12日(日) ⑧ 1月26日(日) ⑨ 2月 9日(日)	県中地区の児童生徒に屋内施設とみどりの広場やアスレチックを開放し、思い切り体を動かす機会を提供するとともに、体力の増進を図る。	家族・親子	<特別支援> 午前・午後 各回 50名 <一般> 午前・午後 各回 100名
2	未来キッズ生き生き事業	全地区 ① 6月 2日(日) 県北地区 ② 6月16日(日) 県中・県南地区 ③ 6月23日(日) 相双地区 ④ 6月30日(日)	本所屋内・外の施設を開放することで、県中地区の家族や親子に体を動かす機会を提供する。また、自然体験活動等自然の家のプログラムをプレイヤー等の協力も得ながら、体験してもらい取り組みを実施し、子どもたちの心身の健康や体力向上へつなげていく。	家族・親子	6月2日 400名 6月16日 6月23日 6月30日 各回 100名 程度
3	自然の家で体を動かそう！ ※月曜日や祝日を除く平日	12月3日(火)～2月28日(金)	県中地区内の幼稚園・保育園を対象に、本所の活動館を利用し、子どもたちの健康の維持増進と体力の向上を図る。※所バスでの送迎も可	県中地区内の幼稚園児、保育園児	1団体
4	心のケアが必要な子どもを対象とした事業	6月8日(土)～9日(日) 10月11日(金) 10月26日(土) 2月2日(日)	県中地区内の不登校で不安を抱えている児童生徒を対象に、自然体験活動や交流体験活動等を通し、子どもたちの心身の向上を図る。	県中地区内の児童生徒	各20名 程度